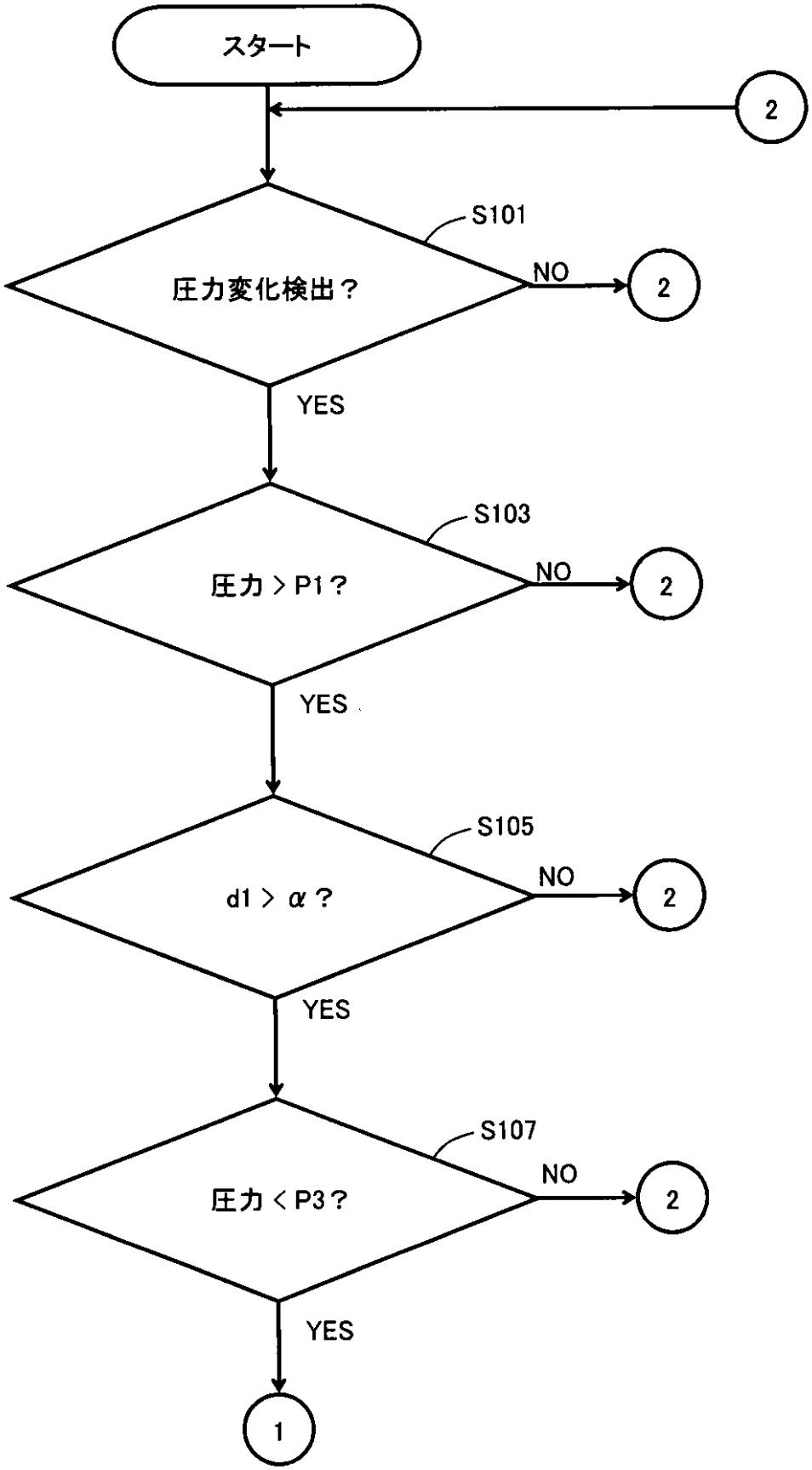
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年3月5日(2015.3.5)

【公開番号】特開2013-153801(P2013-153801A)
【公開日】平成25年8月15日(2013.8.15)
【年通号数】公開・登録公報2013-043
【出願番号】特願2012-14746(P2012-14746)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/022　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/02　３３７Ｚ
Ａ６１Ｂ　5/02　３３５Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成27年1月14日(2015.1.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
さらに、図１を参照して、エア管１０には、その内部に空気を保持するための保持部１１が配される。保持部１１は、内部に空気を保持するための空間を有して、その中に所定量の空気を保持する。また、所定以上の外圧が加わると、保持部１１は保持している空気を排出する。保持部１１は、図２（Ｂ）に表わされたようにエア管１０に配されてもよいし、図２（Ａ）に表わされたように空気袋１３に配されてもよい。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３７】
そこで、判断部４０２は予め内圧変化のパターンを記憶しておき、測定された圧力が当該パターンと一致、または相関が所定以上高い場合に、測定動作を開始するものと判断する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４５】
図８を参照して、ＣＰＵ４０は、２回目の圧力変化について各パラメータを算出し、規定された圧力変化のパターンの各パラメータと比較する。すなわち、圧力値を算出して圧力Ｐ２より大きいか否かを判断し（ステップＳ１０９）、さらに、先の圧力変化からの時間間隔ｔ１が規定された時間Ｔよりも長いか否かを判断し（ステップＳ１１１）、また、その圧力変化の度合いを表わす傾きｄ２が規定された変化度合いβよりも大きいか否かを判断する（ステップＳ１１３）。
【手続補正４】
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図７】



【手続補正５】

【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図８】

